



物価高騰から県民の暮らしと営業の回復、 県民本位の県政を 日本共産党



県幹部職員に要望の実現を
求める佐野太一氏
(右端、11月2日県議会棟)

知事あて要望書
を知事公室長に
提出する党県議
団と佐野太一氏
(左から2人
目、11月2日県
庁内)



佐野太一 氏

日本共産党茨城県委員会は、県内市町村住民から寄せられた全県の要望をまとめ、11月2日、日本共産党県議団と、佐野太一県議予定候補、党取手市議団などの参加により、県知事あて11章317項目の要望書を提出しました。

2023年度茨城県予算などで要望 日本共産党茨城県委員会

学校でも職場でも 人権守る ジェンダー平等社会を

佐野太一氏は自らの産業カウンセラーやボランティア支援活動の体験から「職場におけるジェンダー平等の推進、同一労働同一賃金の実現、あらゆるハラスメント防止対策の強化」「学校の子女子トイレ個室に生理用品の設置」「性的マイノリティ(LGBTQ)の子どもへの配慮、研修や授業で教職員や子どもたちの理解を進める」など県の対応を求めました。

関戸勇市議は「市道常総ふれあい道路は、広域を結ぶ県道の性格をもっており県道としての認定を」と要請。

加増みつ子市議は、県営取手競輪場について「公営ギャンブル廃止、健全なスポーツ・文化、市民の憩いの場」など市民の願う公共施設への転用で魅力のある街づくりを」と求めました。

要望は、以下の11の主要項目にまとめ提出しました。

- ①物価高から暮らしと営業を守る緊急対策
- ②新型コロナウイルス対策
- ③暮らしを支える医療・福祉・子育て支援の充実
- ④子どもの個人の尊厳を尊重する教育、保護者の教育負担半減を
- ⑤中小企業支援を抜本的に強める
- ⑥効率化優先の農政を転換し、農林水産業者の所得向上をはかる
- ⑦住民主体で安全・安心・

- 魅力ある街づくり
- ⑧原発の無い脱炭素社会を追求し、省エネ・再エネを推進
- ⑨公共事業は防災・老朽化対策を柱に
- ⑩地方自治の本旨を發揮し、県民本位の県政を確立
- ⑪憲法をいかし、平和行政・基地問題に取り組む。要望提出と合わせて、知事公室長 総務部、教育庁、土木部、政策企画部、警察本部それぞれから合わせて25人の幹部職員出席の下で、要望項目の実現を求め協議しました。

○要望書の詳細は、党取手市委員会ホームページをご覧ください。

取手警察署・竜ヶ崎工事事務所要請

佐野太一氏と日本共産党取手市議団

県知事要望に先立つ10月31日、日本共産党取手市委員会は、市民アンケートなどに寄せられた県道や河川の整備、信号など交通安全施設整備について、県竜ヶ崎工事事務所、取手警察署に、佐野太一県議選予定候補、関戸勇・加増みつ子・遠山ちえ子・小池えつ子市議らで要望しました。



整備が急がれる旧6号国道文巻橋

信号機設置・改善など

道路の交通安全施設の整備を

信号のない交差点、路面標示が消えている横断歩道、白線の表示と標識設置などの要望が多く寄せられています。

信号設置や改善、交通規制の強化と見直しなど合わせて22か所の整備・改善、交通安全

に対応する予算の抜本的拡充を求めました。警察は、「信号機1機設置するだけで多額の予算が必要」としながらも「現地の確認を行い対応については連絡する」と答えました。

国道294号整備

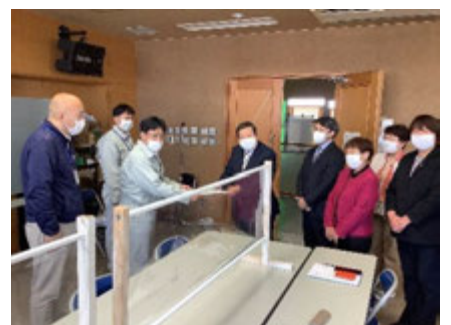
市役所～新取手間 一歩前進

歩道もなく狭くて路面が悪い県道は少なくありません。県管理の国道294号の4車線整備計画の促進、医師会病院入り口に右折ライン設置などの暫定策と、旧国道6号の老朽化した文巻橋の改善を求めました。

水田地帯と低地の住宅街など水害から生命と財産を守る災害対策、小貝川の改修や浚渫など内水氾濫防止対策を要請しました。

県事務所は、国道294号市役所先(フジボール前)

から新取手入り口迄の整備へ用地買収などを進めている、その他は、現地調査の上回答するとしました。



県竜ヶ崎工事事務所に要望書を手渡す党市議団と佐野太一氏(右から4人目)10月31日竜ヶ崎工事事務所

12月11日
県議選

取手市
(定数2)

自民独占を許さない 岸田政権ノ一を示そう

日本共産党 演説会

茨城県

全国8位の財政力を
活かして

子どもの

医療費・国保税・
学校給食無料に

介護・医療の
負担軽減

とき 11月26日(土)11時開会

ところ 取手駅東口前

日本共産党 山添拓 参院議員が
訴えます



国は物価対策に本腰を
消費税5%へ緊急減税
中小業者を支援して
最低賃金^{時給}1500円に



佐野 太一



#動物愛護

県議選予定候補がお話しします。

- 物価高から県民の暮らしを守る
- 東海第二原発再稼働許さない

県議選

12月2日告示
12月11日投票

取手選挙区 (定数2)

自民vs日本共産党+市民と野党共同のたたかい

県議選告示まで1か月と迫る中、11月2日立候補予定者説明会が行われ、全県での県議選立候補予定者の状況が明らかになりました。

3日付茨城新聞は、定数62に対し88人が立候補に名乗りを上げ、他にも出馬を模索する動きがみられると報道しました。

取手選挙区(定数2)は、予想された通り自民党現職2人に、日本共産党新人佐野太一氏が挑戦する自民党と日本共産党3人のたたかいが濃厚です。



取手市民連合のみなさんと街頭演説する佐野太一さん



自民2議席独占許すな! の声 佐野太一へ

自民党と統一協会の密接な関係が、国政ばかりか広く地方自治体まで底なしの癒着が判明しています。

茨城県議会でも真相究明への「統一協会問題の徹底究明と被害者救済を求める意見書」に、自民党の中村修議員も川口正弥議員も反対。

真相究明に反対する自民党と統一協会との密接な関係がいつ

そう疑われています。

反社会的カルト集団との関係を持ち続け、被害を拡大させた統一協会との癒着に無反省の自民党に厳しい審判を下す機会が、12月の県議選です。

岸田政権ノ一の声を取手から、自民2議席独占許すな! の市民の声を日本共産党佐野太一へお寄せください。

あなたも署名を

子育て支援拡充 高齢者医療の負担軽減へ

学校給食無償化を求める署名
国民健康保険税・後期高齢者医療保険料引き下げを求める署名



2つの署名にご協力下さい。
市民団体と共同して取り組んでいます。
ご協力頂ける方は、日本共産党取手市委員会
TEL 0297-72-7816 まで